

北原産業

環境配慮型「小鉢」を提案

耐寒PPにバイオ10%超配合

北原産業（岡山県倉敷市、☎086・526・3040）はこの種展示会の出展やSNSなどを通じ関係ユーザーに向け製品提案を積極化する。

「小鉢シリーズ」を発表し製品ラインアップを拡充した。電子レンジ、金属探知機、冷凍

「プラスチック」素材の使用量低減を求め

るなど環境配慮への意識が高まる中で、電子レンジ加熱や冷凍保管、さらに安全性の面

から金属など異物混入への対応に至るまでマ

一貫して、人手不足が各

行う総合

食品容器

メーカー

。数多

くの製品

アイテム

と販売実

績を持つ

有力企業

として関

連業界で

存在感を

鮮明にし

ている。

同社が提案する「小

鉢」シリーズは、サイ

ズや形状が多種類に製

品化され、プラスチック

だけでなく紙素材ま

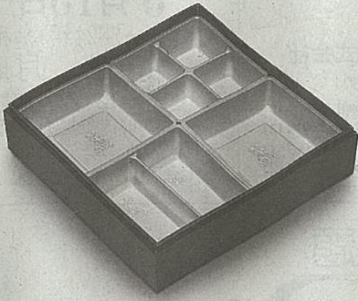
で、1千超のアイテム

数を誇っているのが特

徴で広く支持されてい

る。また、食材の盛り

付けが効率的に作業で



環境配慮を訴求する「New小鉢シリーズ」を提案

きるとして同社の「小鉢」が評価されており、今後ますます需要の裾野を広げるものと注目されている。

今回発表の「New

小鉢シリーズ」は、バイオマス原材料10%以上を配合しバイオマスマークを表示してい

る。高級感を備えた赤金の色調を整えてお

り、「小鉢55赤金バイオ（外寸71×71×深さ30㍉）から、「小鉢70

赤金バイオ（外寸97×97×深さ30㍉）までの幅広いサイズと、底面を2分割と4分割する仕切りを持つタイプなどが用意されている。

同社では、「用途に合わせ選べるように形状、サイズをそろえた。

従来の小鉢シリーズと共に中身の食材に合わせた提案ができるので

は」として、製品周知に力を注ぐ考え。